



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万3500部

(購読料は組合費のなかに含まれています)

(年間購読料 千八百円) 定価 五十円

「けんせつ」8月20日号を平和特集号として発行します。皆さんの戦中・戦後体験、親から聞いた戦争の話、ご自分の平和への思いなどを綴り、編集部まで送って下さい。締め切りは8月1日です。

平和特集号の記事を募集中

組織増勢と諸要求実現

第45回 幹部学校開催



小番書記長の基調報告を聞く

6月23日、東京土建はベルサール東京日本橋で第45回幹部学校を開催しました。全都から537人の仲間が参加しました。午前小番書記長の基調報告と青井未帆学習院大学教授の講演を受け、午後は外国人労働者受け入れ拡大と

70年の闘いの歴史を学び

幹部を育てバトンを渡す

公契約運動の展開、地域建設産業・まちづくり運動、「建設アスベスト訴訟の意義」と受診勧奨の取り組み、社会保障制度の充実と健診・個別健康サポートの取り組みなど7つの分科会に分かれて学習しました。



青井教授の講演で質問する参加者

幹部学校開校の冒頭、松丸委員長は学校長あいさつで、春の拡大月間などでの日頃の仲間の奮闘に感謝し、幹部が組合結成以来、組織の中心を担ってきた歴史を振り返り、私たちが幹部を育ててバトンを渡して行かなくてはならないと強調。組織増勢と諸要求実現にも頭張っていきたいと述べました。

夏の組織強化など重点に

小番書記長の基調報告では、予算委員会が開かれない通常国会、年金2000万円不足問題などの情勢にふれ、参議院選挙に向けた組合の要求を紹介。当面の運動の重点として、①夏の組織拡大・強化と秋への構えづくり、②地

域での関係強化を土台に行政処遇改善と社会的地位の向上、そして東京土建の発展のために引き続き進んで行こうとあいさつしました。

投票で政治変えよう

参議院選挙の訴え

委員 松丸一雄

2012年の第2次安倍政権発足後、強力で進められたアベノミクスで経済再生してきたと自画自賛しています。2012年の第2次安倍政権発足後、強力で進められたアベノミクスで経済再生してきたと自画自賛しています。2012年の第2次安倍政権発足後、強力で進められたアベノミクスで経済再生してきたと自画自賛しています。

東京土建の仲間の皆さん、家族の皆さん、毎日のお仕事、組合活動へのご協力、本当にご苦労様です。中央執行委員長として、7月21日の参議院議員選挙で、私たちの要求が実現する政治へと変えるため、投票していただくことを呼びかけます。



松丸委員長

2015年に強行採決された憲法9条に自衛隊の育成、減災・補償基金の創設、技能継承者の育成、減災・防犯のまちづくりといった、私たちに身近な要求の実現とともに、平和で安心して暮らしていける社会として行くため、仲間どうし誘い合っ

朝やけ ■Eテレで放送された「クルド難民家族の12年」を見た。母国での迫害から逃れ日本に来たものの難民認定されず、入管施設に2年以上収監される実態を描き、外国人労働者の受け入れは拡大したが、相変わらず難民は別という現実をえぐったドキュメンタリーだった。政権に忖度して批判されるNHKではあるが、良心的な番組のつくり手は確かに存在している。

■NHKでは初井勝人会長時代に放送総局長だった板野裕爾氏を専務理事に復帰させる人事が行なわれた。板野放送総局長の2年間は、2014年の集团的自衛権閣議決定、2015年の安保法国会審議などで政権よりの報道に終始し、アベチャンネルと批判された。今回の人事に危機感を抱き、板野氏解任を求める市民団体も現れている。

■NHKがテレビと同じ番組をインターネットで配信できるようにする改定放送法が成立した。テレビなし世帯が増える下で情報提供していくための戦略なのだろう。NHKにとっては悲願であったという。1964年の東京五輪をテレビで見た世代としては、多くの人々が今ではスマホで見るとか感慨深いものがある。情報の伝え方も変わるのにはやむを得ないが、忖度だけはいただけない。良質な番組を提供するように守りたい。